

Jiaino Tobira

季刊誌「じあいのとびら」

発行/財団法人 慈愛会 今村病院分院

平成23年2月発行

●ご自由にお持ち帰りください。

季刊

# じあいの とびら

第7号

The Seventh number



号

題字 作平瀬戸めぐみ

## 各部署の紹介

### 脳卒中センター

ヨーロッパ骨髄移植学会 (EBMT) に参加して

5階血液病棟 岩切 郁美

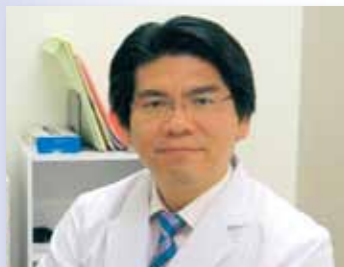
## TOPICS

今村病院分院 ソフトバレーボールチーム紹介

## じあいのとびらコラム

「言葉の力」(財)慈愛会 リハビリ統括室長 村山 芳博

2011. Winter



高嶋教授



松岡先生



脳卒中センターを支えるスタッフ

道園先生

外来スタッフ並びに外来診療を担当していただきながら病棟診療にもアドバイスをしていただいている非常勤の先生方

卒中のほかに頭部外傷、脳腫瘍、正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫、顔面痙攣／三叉神経痛、神経難病等、中枢神経系一般の患者様の治療も行っています。
今村分院7階東棟には3つの手術室を有する手術部・中央材料部と血管内治療対応の最新鋭脳血管撮影装置を備えたアンギオ室があります。この手術室も手術機器や麻酔機器関連、消耗品・備品等が機能的に使えるように壁・天井を有効利用した最新の手術室です。脳神経外科は主に第3手術室を使用しています。一般的な脳神経外科手術にはすべて対応できる手術器材・手術支援機器を備えており、手術室スタッフはいつでも手術ができる体制を整えています。この2年間の年間手術件数は約60件ですが、この4月から当直体制になり毎月7〜8件の手術がありますので、今後手術件数は増えてゆくと思われ、また、3人体制ですので充分対応できると思います。脳卒中センター稼働後の手術実績や内容は別表に記載しています。脳動脈瘤手術は20例を超えますが、幸いに大きな合併症はありません。未破裂脳動脈瘤が見つかり、ご不安な患者様はぜひ相談にいらして下さい。
3年前、脳卒中及び脳神経外科に関する診療体制はほとんどゼロからの出発でした。鹿児島市内や県外にある大規模公立病院や民間病院の脳卒中センターにはほど遠いとは思いますが、患者様の気持ちを大事にした暖かい看護はもちろんのこと早期から積極的に行い、リハビリテーションを始め、根気強く続けてゆく姿勢やADLに依りて中期的な入院が可能である等、他施設に負けない特徴があります。高齢者を取り巻く医療には環境や経済・行政にも広がる多くの問題点がありますし、救急医療の一端を担う脳卒中医療にも多々問題点が指摘される昨今ですが、地域医療に貢献すべく脳卒中センター職員一同、日々努力しています。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。



脳卒中センター病棟スタッフ

今村病院分院脳卒中センターは今村病院分院新築棟6階に病床数26床(内HCU4床)で、急性期脳卒中の治療を行うべくスタートしました。病棟ロビーからは目の前に桜島が広がり、日当たりもよく、すばらしい環境の病室です。平成20年8月に本格稼働し、3年目を迎えました。しばらく常勤医不足等があり、時間外救急ができない時期もありましたが、今年4月からは神経内科医2名、脳神経外科医3名が常勤となり、鹿児島大学から3名の非常勤医師に応援を戴き、脳卒中を中心に神経内科・脳神経外科疾患を幅広く診療しています。常勤医師5名のうち3名は脳卒中専門医で他の2名も脳卒中医療を専門にしており、大学から応援していただく非常勤の先生方と神経内科初期研修医の先生を含め、夜間・白曜・祝日も当直体制を敷き24時間体制で脳卒中急性期医療を行っています。

# 脳卒中センター

今村病院分院 各部署の紹介 脳卒中センター

CT/MRIは、常時稼働可能で脳血管撮影もいつでもスタンバイしています。64列マルチスライスCTの血管描出能は極めて良好かつ精密で、血管系の精査が短時間かつ非侵襲的に行えます。技師さんたちは非常にプロ意識が高く、骨や静脈等のアーチファクトを細かく除去し、目的とする病変部位を芸術的に3次元表示してくれます。おかげで手術対象となる破裂脳動脈瘤の精査に際しても従来の選択的脳血管造影は不要になってきました。3T MRIの評判もよく、最近はやや予約をしないといふ口には撮像ができなくなりました。もちろん救急の患者様はいつでも撮像可能です。t-PAモードではDWI、T2、FLAIR、T2\*、MRAが約15分で撮像できます。1.5TのMRIに比べ3Tでは血管描出能、拡散強調像の精度、拡散テンソル画像その他MRスベクトロスコーピー等の画質の向上・精度の向上は目を見張るものがあります。また撮像時間が短いため多種類の画像が撮像できます。最近脳梗塞の原因検索に重要な経食道心エコー図検査もできるようになりました。このように恵まれた診断機器があつて適確かつ高度の急性期脳卒中及び脳神経系外科神経内科疾患の治療ができる訳です。
当院脳卒中センターの特徴はストロークユニットという専門性を備えていることです。脳卒中専門医である脳神経外科医と脳卒中内科医がお互いの専門性を持って協力し合いながら急性期脳卒中医療を行ってゆくに加え、リハビリテーション専門医の指導の元に理学療法士、言語聴覚士、作業療法士が急性期からリハビリテーションを開始するため、脳卒中発症後の合併症が少なく、またその後の回復期リハビリテーションと相まって自宅への復帰率が

高年者にも多く発症する病状であることは皆様ご存知の通りです。脳卒中への対策はまず第一に予防です。しかし、万が一にも脳卒中を発症したらすぐに来院して下さい。
脳卒中の救急患者の受け入れはER総合内科のおかげで極めてスムーズになりました。緊急手術が必要な患者様は術前検査・準備を済ませ、ご家族へ説明の上、そのまま手術室へ搬入する事も可能です。もちろん6階東脳卒中センター病棟への入院も患者様の状態に応じてHCU、一般病棟と適宜、振り分けて入院していただきます。脳卒中センターの診療体制が新しくなって半年程経った昨秋頃から、6階東病棟は満床状態となり、緊急入院に対応するためのベッドコントロールが大変になりました。今年からは他診療科のベッドを譲って戴き、ベッドを開設当初の予定通り30床としました。現在も他の病棟の協力を得て師長、副師長が頭を抱えながら毎日ベッドコントロールを行っています。
入院患者の内訳は約3/4が脳卒中で脳卒中患者の2/3が脳梗塞、残りがクモ膜下出血を含む脳出血です。元来、脳卒中の患者様は心肺系疾患・腎疾患や糖尿病などの合併症を持つている事が多く、また、高齢化社会に伴い70歳以上のご高齢の方がほとんどで、80歳を超える患者様の入院も日常茶飯事です。再発や老人ホーム・介護施設からの患者様も多く、これらの方は発症前のADLが悪いため自宅復帰は困難な事が多いのですが、ソーシャルワーカーが介入し、ご家族の意向を十分に尊重して満足いただける転院先を紹介しています。
t-PA施行例も増えており、来院からt-PA投与まで1時間以内でできるようになりました。t-PAの適応は厳格でなければならぬのですが、当院のMRIは撮像時間が短く、またいつでも稼働できますのでMRIを用いて適応を決めています。現在20例近くのt-PA投与例がありますが、退院時のADL良好例の占める割合は半数を超えています。脳



第3手術室における手術の様子

## 脳卒中センター脳神経外科手術実績

開頭脳動脈瘤頸部クリッピング	23
開頭血腫除去術	19
開頭腫瘍摘出術	9
神経血管減圧術(三叉神経痛/顔面痙攣)	10
浅側頭動脈-中大脳動脈バイパス術	3
開頭血管腫除去術	1
-----	
水頭症手術(シャント術)	21
慢性硬膜下血腫洗浄ドレナージ	40
定位的血腫吸引術	11
脳室ドレナージ	5
その他	7
-----	
血管内手術	
頸動脈ステント留置術	6
脳動脈瘤コイル塞栓術	2
-----	
合計	157

## 表紙の絵について

日本画 20号 題：月照南岳



2010年2月の第11回MBC桜島展で大賞を受賞した作品。前年、2009年の初出品の作品は日本画部門での最高賞の特選を受賞し、その絵は『じあいのとびら』の2号(2009年秋号)の表紙絵として紹介した。今回の大賞は油絵部門など含む全ての部門の最高賞で、これに加えて、入場者による人気投票の結果も第一位となり、ギャラリー賞まで受賞できたことは何より嬉しい出来事であった。

財団法人慈愛会 会長 納 光弘

# ヨーロッパ骨髄移植学会(EBMT)に参加して

5階血液病棟 看護師 岩切 郁美

私は、2009年3月29日から4月1日にスウェーデンのヨーテボリで開催されたヨーロッパ骨髄移植学会(European Group for Blood and Marrow Transplantation: EBMT)に参加させていただきました。

参加のきっかけは、直前の2月に札幌で開催された第31回日本造血細胞移植学会総会で演題発表をしたことでした。そこで発表した当院で血液の病気を闘った患者さんのことや自分達の努力を、日本だけでなく世界の人人々に伝えたいという、とても大きく大きな志を持ち、最初はダメで元々という軽い気持ちで、当院の血液内科の先生方の協力を得て、医師だけでなく看護師の演題発表も多く行われているというEBMTに演題を応募しました。応募した演題は「Nursing aimed at psychiatric stabilization of the patients proposed for hematopoietic stem cell transplantation(造血幹細胞移植患者の精神安定を自指した看護の検討)」でした。



座長とともに



学会会場

ダメで元々のはずであったのですが、結果はPsychosocial support(心理社会的支援)のセッションでの口演発表で選ばれたという予想外の出来事に私たちは動揺し、事の重大さにすっかり尻込みをしてしまいました。しかし、選ばれたからにはやるしかない、負けず嫌いの私は自分のできる限りの努力をしてみようと腹をくりました。

海外の学会で演題発表をするにあたり、大きな問題がありました。それは語学です。私は学生時代も英語が苦手、理解できるのは中学生レベルの英語であり、発音は思いきり日本語英語でした。発表が決まっていたから数カ月の間で英語がペラペラになるはずはないので、先生方の協力を得て英語に訳した発表原稿を、外国の方が理解できる程度に話すことができるようになることを目標にし、近所の英会話スクールの先生

に頼んで発音の特訓をもらうことにしました。

あつと言つ間には過ぎ、出発の日となりました。3月27日鹿児島から名古屋、ドイツ・フランクフルトを経由し、スウェーデン・ヨーテボリ国際空港に約20時間かけて到着しました。ヨーテボリはスウェーデン第2の都市で、北緯58度に位置しています。到着時は雪が薄ら積もっておりましたが、3月の終わりであったこともあり、私は2月の札幌(北緯43度)より暖かく感じました。街には「トラム」と呼ばれる路面電車が走っており、鹿児島市に住んでいる私は親近感を感じることができました。



ポスター会場



European Group for Blood and Marrow Transplantation



博物館前のモニュメント

街の観光をしながら過ごしました。前日まで準備をして迎えた発表当日、私は極度の緊張状態でしたが、心配していた質疑応答も発表前の座長との打ち合わせと中野伸亮先生の通訳で何とか乗り切ることができました。Psychosocial support(心理社会的支援)のセッションでは4つの口演(演題)発表がありましたが、患者さんのつらさやそれを支える看護師の思いは世界共通であることを実感し、自分たちと同じ思いで頑張っている人が世界中にいたことがわかりとても励みになりました。座長をされたイギリスの方には、セッションが始まる前に緊張しなくても大丈夫と励ましていただき、終了後には一緒に記念写真まで撮らせていただきました。座長の方の手柄に救われ、本当に感謝でした。

看護師のセッション会場は、笑いあり涙ありのアットホームな雰囲気でした。心残りには、他

国の看護師と話ができるまたとないチャンスであったのに、自分の言葉で質問したり意見を聞いたりすることができなかったことです。大きな目標になってしまいましたが、次のようなチャンスがあった時は、自分の言葉で話ができたらと強く思いました。

ダメで元々で応募したのですが、最初からダメと決めつけるのではなくチャレンジする気持ちが大切だと今回の経験で実感しました。実際、準備は本当に大変でしたが、得たものはそれ以上に大きなものでした。田舎の1看護師が国際学会で英語で発表することができたのも、一緒に看護研究を行った先輩・後輩、血液内科病棟・外来の患者さんスタッフ、院長先生をはじめ血液内科の先生方のおかげです。本当に感謝しております。



学会会場前(窪田、宇都宮、筆者、中野)



発表が終わって日本からの参加者との打ち上げ



宿泊したヨーテボリのホテル

## 「言葉」の力

(財)慈愛会 リハビリ統括室長  
村山 芳博



「言葉」の意味を表すために、口で言ったり字に書いた

辞書を開くと、このように書いてあります。言葉って不思議なもので、姿も無いのに「力」がある。形もないのに「温度(温かい、冷たい)」がある。そう思っています。

私たちはその「言葉」で、微笑んだり、喜んだり、励まされたり、時には衝撃を受け悲しんだり、皆様が様々な経験があらわれるのではないのでしょうか。

「言葉(ことば)」とは、言葉に内在する霊力(力)の事で、古代、その力が働いて言葉通りの事象がもたらされると信じられていたそうです。今でも「自分はやればできる」と他人に宣言したり、自分に言い聞かせる事は、それなりに効果があり表現の一助になると思います。

その「言葉」について、私が口頭から遣っている、また、今までの人生の中で好きな言葉を皆様へ紹介させて頂きたいと思います。

かんしゃくの、くの字を捨ててただ感謝

昔、どこかの本屋で立ち読みをしていた時に、目に飛び込んだ言葉。

なるほど、いい事言うな〜と一人で感心した事を覚えて

私達は、今村病院分院に勤務する職員(医師・看護師・検査技師など)と、病院に通院している患者様も仲間となって活動しているソフトバレーボール同好会です。結成約15年目を迎えました。同好会結成のきっかけは、糖尿病内科医師の鎌田先生(現在分院副院長)が発起人でした。目的は、職員同士の交流の場とする。糖尿病で入院する患者様の運動療法の一環とすることでした。部員は、結成当時30名ほどの大所帯でしたが、移動や退職、妊娠、出産などでメンバーが減り現在は約10名ほどで活動しています。

チーム名は、「ゼニガメ」です。アニメのキャラクターの一つです。命名の由来は謎です。試合に参加したあるとき、対戦相手のチームから「銀行にお勧めですか」と尋ねられました。(笑)

患者様の運動療法の一環として取り入れたことから分かるように、硬式の本格的なバレーボールとは違い、ボールも硬式のボールと比べ軟らかく、大きい為痛みや恐怖もありません。「バレーボールが好き」ということも大事ですが、何か身体を動かしたいけどスポーツは苦手という人でも親しみやすい競技です。



活動の場所は、紫原小学校の体育館を使用しています。練習日は、毎週水曜日の19:00から21:00までの2時間です。仕事が終わってからの練習ですが、仕事の疲れも忘れ必死にボールを追いかけています。練習で大きな声を出したり、笑ったり、汗をかくことで仕事の疲れやストレスを発散させていきます。

試合も1回/月の頻度で行われており、全国大会まであります。私たちのチームはまだ全国大会の経験はありませんが、パート毎での1位・2位を獲得したことはあります。試合では、何とも言えない緊張感があり、勝った時の満足感は大変なものがあります。それ以上に、試合の間のお茶タイムや手作りのお弁当を食べることも楽しみの一つです。チームメンバーも年々高齢化してきています。試合の会場に行く、60代の選手もいて、はつらつと競技をしています。いつまで続けられるか分かりませんが、怪我をしないよう、楽しく身体を動かしていきたいと思っています。興味がある方、ぜひ仲間になりませんか。

一緒に、汗を流し、ストレス解消・健康づくりをしていきましょう。



## 部員募集中!!

問い合わせ先:分院3F病棟 看護師 内山です。



います。

感謝の代名詞「ありがとう」という言葉をかけられて、不愉快になる方はほとんどおられないと思います。人がいろいろな人・物・環境に支えられ繋がって生きていく時、それらに感謝して過ごしていく事は、有意義な人生を送れると信じます。

私も、人間関係でできるだけ「ありがとう」を遣うよう心がけています。

心は見えないけど、心配りは見える  
思いは見えないけど、思いやりは見える  
伝えるには行動で

これは、ラジオから流れてきた公共広告機構のCMに使われていたものです。

いくら心や思いがあっても、それを相手にどう伝えるか難しい所ですが、やはり「口に出す(言葉で伝える)・行動で示す、恥ずかしくせずに!」これ大事だと思うんですね。昨年の結婚式のスピーチでも遣わせて頂いた言葉です。

夫婦は他人。だからこそ思いやりが大切。  
昔から私が結婚式のスピーチも、もしくは寄せ書きに必ず遣う言葉です。

生まれも育ちも違うお2人が、愛を育みこれから同じ屋根の下で暮らしていく。

そこには、相手を思いやる気持ちが一番大切になってきます。それをいかに相手に伝えるか、先ほど書きました「恥ずかしがらずに!」また、「いくつになっても!」がポイントですよ。

人生、ブライゼロ。  
ただ、頑張った分だけ少しプラスかな。  
私の造語です。「苦あれば楽あり 楽あれば苦あり」と似た意味でしょうか。

どんな人でも、良い事があればその逆もある、「一見成功しているように見えてもそれでは大変な苦労があったはず。悪いことだけは絶対続かない!必ず報われる!ブライゼロ!」でも、頑張った分は少しはプラスになった人生になれば、希望をこめた言葉です。

努力は足し算、協力は掛け算。  
あるスケジューリングを購入した時があった言葉です。個人の努力は1歩1歩足していけるが、集団行動・生活

(夫婦・職場・スポーツなどは、誰かが協力しない(ゼロ)なら、成果も出ないという事。病院内の、個人のスキルアップとチーム医療、どちらも重要です。

やることたくさん!  
どうせやるならプラス思考で!  
私が忙しい時に、いつも考える事。同じだったら、気持ちよく仕事やお手伝いをしたいですよ。後向きに考えればきりがなくなり、決してハッピーな気持ちにはなれないです。どんな事でもどこかで必ず自分の為になるはずですよ。

自分の長所を褒めよう。そうすれば、他人の長所も見えてくる。  
これも私の造語です。私の得意技?人の長所を見つけることでしょうか。

日本人は奥ゆかしくて、謙遜は得意?ですから、自分の短所を見つけるのは難しくないと思います。また、私たち医療に携わる者は、正常と違う異常な部分を見つけたし治療していくのが仕事であり、どちらかというと悪い所を見つけるのが上手な方もいません。

ただ、私は、いつの頃から気持ちを切り替えて自分の良い所を自分なりに評価し出した頃から、他人の長所をいくつも感じる事ができてきた気がしています。

「褒める」すごく大事な事だと思います。

私がいつも遣っている、また、心の支えにしている「言葉」のいくつかをとりとめもなく書いてしまいました。もし、共感して下さる内容があったら嬉しく存じます。

昨年、父を看取った時の事です。心電図がフラットになった直後、父が大きく目を開き、口を少し動かしました。勿論、声は出ませんが、私と母にはその口の動きが確かに「アリガトウ」と言っているように聞こえました。家族として肩の力が抜けたような、素直に「本当にお疲れ様でした」という気持ちになれたのを感じています。

言葉の力は、本当に凄いと感じた瞬間でした。

人は、必ず誰かと繋がって生きています。その繋がりが、の1つが「言葉」だと思っています。言葉一つで相手を傷つけたり、幸せな気持ちになつたりもつたり、また、自分もハッピーになれる。そんな「言葉」をこれからも大切にしていきたいですね。



# Information

## 今村病院分院からのお知らせ

### 診察日一覧表

		月	火	水	木	金	土
総合内科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	×
神経内科	午前	○	○	○	○	○	第2・4 は診療
脳神経外科	午前	○	○	手術日	○	○	第2・4 は診療
画像診断科	午前	○	×	○	×	○	×
腎臓内科	午前	○	○	○	○	○	第1・3・5 (再診のみ)
血液内科	午前	○	○	○	○	○	○ (再診のみ)
消化器内科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	×	○	○	×	×
糖尿病内科	午前	○	○	○	○	○	○
麻酔科	午前	○	○	○	○ (再診のみ)	×	×
循環器内科	午前	○	○	○	○	○	×
リハビリ科	午前	○	○	○	○	○	×
耳鼻科	午前	×	○	×	×	×	○
皮膚科	午前	○	○	○	○	○	○
眼科	午前	○	第1・3 は診療	○	○	○	○
泌尿器科	午前	○	○	○	○	○	×
整形外科	午前	○	○	○	○	○	○
	夕診	○	×	○	×	○	×
透析センター	午前	○	○	○	○	○	○
	夜間	○	×	○	×	○	×
人間ドック	午前	○	○	○	○	○	○

### 受付時間

平日/午前8:30~11:30  
 午後2:00~5:10  
 土曜日/午前8:30~11:30

### 診療時間

平日/午前8:30~12:30  
 午後2:00~5:30  
 土曜日/午前8:30~12:30  
 (但し、救急科は24時間診療しています。)  
 ○整形夕診 16:00~19:00

### 休診日

日曜日、祝祭日、盆休み(8月14・15日)  
 年末・年始(12月30日~1月3日)  
 (但し、救急科は365日診療しています。)

### 専門外来を受診希望の場合

救急科を除く専門外来は、予約制となっております。受診を希望の場合は事前にお電話にて予約をおとり下さい。

【ご予約受付時間】  
 14:00~17:00

【ご予約電話番号】  
 099-251-2221 (代表)



母が子を慈しみ育てる心、  
 愛を持って病める人の苦しみを除く。  
 この慈しみ愛する心  
 その素朴で純粋な気持ちが慈愛会の  
 基本理念です。

### 基本理念

1. 医療を通じた地域社会への貢献
2. 良心的な高度医療の提供
3. 患者さまの権利・主体性の尊重
4. 快適な医療環境の提供

### 駐車場のご案内



### 交通アクセス



●鴨池ニュータウン  
 中央バス停下車、徒歩2分

●県庁前バス停下車、徒歩5分  
 鹿児島中央駅より約15分、  
 天文館より約15分



### 編集後記

毎朝寒い日々が続いています。今回は、学会旅行の話や趣味活動記事を充実させました。学会旅行の話を読んで、多くの職員が学会発表会や院内での研修など喚起して頂けるといいと思います。



### 今村病院分院

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町11-23  
 ☎099-251-2221 ☎099-250-6181  
 ホームページ http://imamura-bunin.com/